令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	理科
教科担当			
教科書名	新しい科学1 東京書籍		
副教材	理科の学習整理		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。また、各教科の評価の観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (理科) 科の目標と評価について

教科の目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能)○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。○観察・実験の基本操作を習得できているか。○観察・実験を計画的に実施し、その結果を記録・整理できているか。</p> <p>(思考・判断・表現)○自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行うことができているか。○観察・実験の結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。○自然の事象・現象を自らの日常生活との関わりでみようとしているか。</p>
評価方法	<p>・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・授業の様子や発言内容</p> <p>・指導に対する成果物(ノートやレポートの記述内容) ・振り返り(自己・相互評価)</p> <p>○授業中の態度や発言・発表の様子、実験・観察の技能、ノートやレポートなどの提出物、自己評価、中間、期末テストや小テストなど総合的に評価する。</p>

2 (理科) 科の学習について

授業の進め方	<p>・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。</p> <p>・これまでに学習した内容や知識と結びつけながら、仮説や予想を立てるようにしましょう。</p> <p>・理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。</p> <p>・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。</p> <p>・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、自分が観察した事実やわかったことを表現しましょう。</p> <p>・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。</p>
定期テスト	<p>○授業で扱った事項、及び試験前に指定した範囲の内容から試験問題を作成します。</p> <p>○試験範囲は定期テスト1週間前までに発表します。</p> <p>○各テストでは毎回実験や観察での注意事項からも出題します。普段の授業からしっかり確認しておきましょう。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	単元1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	生物の観察のしかたを理解し、双眼実体顕微鏡や顕微鏡を正しく使用している。	生物を分類する基準となるような動物の特徴の共通点や相違点を考え、ある基準をもとにして、生物カードの生物を分類し、分類した結果を、図などに表現している。	ルーペを正しく使いながら、野外での生物観察を行い、いくつかの観察の視点を考えながら、生物や、生物を発見した場所の環境を記録している。	
	評価方法	○行動観察	○記述分析	○記述分析	
	評価時期及び評価場面	1章1節 → 基本操作	1章2節 → 実習1の考察	1章1節 → 観察1の記録	
5、6月	単元名(題材名)	単元1 いろいろな生物とその共通点 第2章 植物の分類		指導時数	11
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	植物のふえ方、子房の有無、葉のちがいなどが、植物の分類の基準になることを確認し、図などをかくことができる。	花をかく、花卉、おしべ、めしべの順に適切に分解し、いろいろな植物の花における実や種子とめしべとの関連について、スケッチと文章で適切にレポートに表現している。	多くの植物を分類する活動に進んでほかの生徒と協力して考えをたがいに伝え合ったり表や図を作成したりしながら、ねばり強く課題を解決しようとしている。	
	評価方法	○記述分析	○行動観察	○行動観察	
	評価時期及び評価場面	1章5節 → 結論	1章2節 → 観察2スケッチ	1章5節 → 結論	
7月	単元名(題材名)	単元1 いろいろな生物とその共通点 第3章 動物の分類		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	これまで学習した動物の特徴をどの順番で確認すれば、適切に動物を分類できるかを理解し、さまざまな動物を適切に自ら進んで分類している。	分類の基準について、多くの動物に当てはまるものからそうでないものへと、順序だてて分類する考え方を理解しており、その考え方をもとに分類表を作成できる。	ピンセットやルーペなどを正しく使い、カタクチイワシやシバエビのからだのつくりを観察して、その特徴を適切に記録している。	
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
	評価時期及び評価場面	1章4節 → 結論	1章2節 → 考察	1章2節 → 観察4	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

8,9月	単元名(題材名)	単元2 身の回りの物質 第1章 身の回りの物質とその性質		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	ガスバーナーの適切な手順の使用方法を説明できる。	体積, 質量の記録を適切に行っており, 正しく計算して密度を求めている。求めた密度の値に近似している。	物質の性質を調べる観点をあげ, ほかの生徒の考えの発表を聞いて記録している。	
	評価方法	○行動観察	○記述分析	○記述分析	
	評価時期及び評価場面	1章4節 → 基本操作	1章3節 → 実験2考察	1章1節 → 予想しよう	
10月	単元名(題材名)	単元2 身の回りの物質 第2章 気体の性質		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	さまざまな気体の発生方法と捕集方法, その性質について理解している。	複数の実験結果を根拠にしなが, 調べた気体の名称を適切に指摘している。	水にとけやすい気体を捕集し, その性質を調べる方法について, 科学的な根拠をもとに, その手順を考えようとしている。	
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○記述分析	
	評価時期及び評価場面	2章1節 → 実験4結論	2章1節 → 実験4考察	2章2節 → 振り返り	
10月	単元名(題材名)	単元2 身の回りの物質 第3章 水溶液の性質		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	粒子の数が変化しないために質量も変化しないこと, 時間がたってもばらばらに広がったままであることを説明している。	質量パーセント濃度の計算式の溶質, 溶媒, 溶液に, どのような数値が当てはまるのか対応させることができ, 質量パーセント濃度の計算方法を身につけている。	実験の考察時の話し合いや意見交換に進んでかわろうとし, 再結晶が溶解度によって起こる現象であることを理解しようと, ねばり強く取り組んでいる。	
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○行動観察	
	評価時期及び評価場面	3章1節 → 結論	3章1節 → 演習	3章2節 → 実験5	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

11月	単元名(題材名)	単元2 身の回りの物質 第4章 物質の姿と状態変化	指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満たす姿(B規準)	ロウの液体が固体へ状態変化するときのスケッチのようすから中心部分が凹んだことと体積を関連させて説明できる。	沸点では温度の上昇がないことをグラフの書き方を確認しながら、データをグラフにかきこみ表現している。	水と比較しながら、身のまわりにある物質の状態変化について考えようとしている。
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○記述分析
	評価時期及び評価場面	4章2節 → 結論	4章3節 → 考察	4章1節 → 説明しよう
11、12月	単元名(題材名)	単元3 身の回りの現象 第1章 光の世界	指導時数	10
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満たす姿(B規準)	凸レンズを通る光の道筋を作図することで、物体と凸レンズの距離による像の大きさや向きを理解している。	凸レンズにおける物体の位置と像の位置や大きさとの関係について正しく理解し、作図によって適切に説明している。	光の進み方に着目し、具体的に課題を設定して、それを解決しようと、ほかの生徒と協力しながら、ねばり強くとり組んでいる。
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○行動観察
	評価時期及び評価場面	1章4節 → 実験3結論	1章4節 → 演習	1章4節 → 実験3
12月	単元名(題材名)	単元3 身の回りの現象 第2章 音の世界	指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満たす姿(B規準)	モノコードの弦をはじく強さや弦の長さ、弦の張りの強さを変えるなど、条件制御しながら実験を行っている。また、実験結果のちがいをそれらの条件と関係づけて適切に記録している。	実験結果をもとに、音の大きさ、高さや弦の振動のようすとの関係について考察し、より妥当な考えをつくり出して表現している。	身のまわりの物体を使って音が出ている物体のようすを積極的に調べるようすがみられる。
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○行動観察
	評価時期及び評価場面	2章2節 → 実験4結論	2章2節 → 実験4考察	2章1節 → 問題発見

※概ね満たす姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

1月	単元名(題材名)	単元3 身の回りの現象 第3章 力の世界		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	1つの物体にはたらく2力のつり合いの条件を理解し、正しく図示して適切に説明している。	実験結果から、力の大きさとばねののびの変化に規則性があることを見だし、適切に表現している。	身のまわりの物体にはたらく力について事例をあげるとともに、その力のはたらきから、力の種類の分類について考えようとしている	
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○記述分析	
	評価時期及び評価場面	1章4節 → 実験6結論	1章2節 → 実験5考察	1章1節 → 問題発見	
2月	単元名(題材名)	単元4 大地の変化 第1章 火をふく大地		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	火成岩の色やつくりの共通点や差異点から問題を見だし、火山岩と深成岩の結晶や組織のちがい、深成岩の色のちがいについて観察を行い、言葉やスケッチで表現している。	結晶や組織のちがいをスケッチや言葉などで適切に表現しており、冷え方のちがいと関連づけてそのちがいが生じたことを推察できる。	火山のめぐみについて進んで調べ、記録している。	
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○記述分析	
	評価時期及び評価場面	1章3節 → 観察3	1章3節 → 観察3考察	1章4節 → 結論	
2月	単元名(題材名)	単元4 大地の変化 第2章 動き続ける大地		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	浅い内陸型地震とプレートとのしずみこみに沿った海溝型地震があることを理解しているとともに、津波は海溝型地震の断層のずれで発生することを理解している。	震央と時間の差の記入と震度の色分けができており、震央から離れるにつれてゆれ始めの時刻が同心円状に遅くなること、および震度が同心円状に小さくなることを見だし表現している。	土砂くずれ、建物倒壊、津波などの地震災害に対する備えの重要性を理解し、防災意識を高めようとしている。	
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○記述分析	
	評価時期及び評価場面	2章2節 → 結論	2章1節 → 演習	2章3節 → 結論	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

3月	単元名(題材名)	単元4 大地の変化 第3章 地層から読み取る大地の変化	指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	化石からわかることについて、示相化石と示準化石の考え方とそれぞれのちがいを理解し、それぞれに分類される主な化石を理解している。	離れた地点のボーリング試料や地層の図から、地層の重なり方を読みとり、既習事項と関連させながら、地下の地層の広がり方や堆積したときの環境について推定している。	堆積岩は粒子の大きさや角のようすと火成岩のようすのちがいにも着目し、石灰岩とチャートに希塩酸をかけると、石灰岩のみから泡が出ることに気づき、その成分について既習事項をもとに推測している。
	評価方法	○記述分析	○記述分析	○記述分析
	評価時期及び評価場面	3章3節 → 結論	3章5節 → 演習	3章2節 → 結論
	単元名(題材名)			指導時数
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)			
	評価方法			
	評価時期及び評価場面			
	単元名(題材名)			指導時数
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)			
	評価方法			
	評価時期及び評価場面			

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	理科
教科担当			
教科書名	新しい科学2 東京書籍		
副教材			

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (理科) 科の目標と評価について

教科の目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能)○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。○観察・実験の基本操作を習得できているか。○観察・実験を計画的に実施し、その結果を記録・整理できているか。</p> <p>(思考・判断・表現)○自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行うことができているか。○観察・実験の結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。○自然の事象・現象を自らの日常生活との関わりでみようとしているか。</p>
評価方法	<p>・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・授業の様子や発言内容</p> <p>・指導に対する成果物(ノートやレポートの記述内容) ・振り返り(自己・相互評価)</p> <p>○授業中の態度や発言・発表の様子、実験・観察の技能、ノートやレポートなどの提出物、自己評価、中間、期末テストや小テストなど総合的に評価する。</p>

2 (理科) 科の学習について

進授業方の	<p>・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。</p> <p>・これまでに学習した内容や知識と結びつけながら、仮説や予想を立てるようにしましょう。</p> <p>・理科学語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。</p> <p>・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。</p> <p>・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、自分が観察した事実やわかったことを表現しましょう。</p> <p>・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。</p>
定期テスト	<p>○授業で扱った事項、及び試験前に指定した範囲の内容から試験問題を作成します。</p> <p>○試験範囲は定期テスト1週間前までに発表します。</p> <p>○各テストでは毎回実験や観察での注意事項からも出題します。普段の授業からしっかり確認しておきましょう。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	単元1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のなり立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のなり立ちに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	1章1節(実験1) →予想、結果 1章2節(実験2) →予想、結果	1章1節(実験1) →考察 1章2節(実験2) →考察	1章1節(実験1) →課題に対する結論、振り返り 1章2節(実験2) →課題に対する結論、振り返り		
5月	単元名(題材名)	単元1 化学変化と原子・分子 第2章 物質どうしの化学変化		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	2章1節(実験3) →予想、結果	2章1節(実験3) →考察	2章1節(実験3) →課題に対する結論、振り返り		
6月	単元名(題材名)	単元1 化学変化と原子・分子 第3章 酸素がかかわる化学変化		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	3章1節(実験4) →予想、結果 3章2節(実験5) →予想、結果	3章1節(実験4) →考察 3章2節(実験5) →考察	3章1節(実験4) →課題に対する結論、振り返り 3章2節(実験5) →課題に対する結論、振り返り		

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

6月	単元名(題材名)	単元1 化学変化と原子・分子 第4章 化学変化と物質の質量	指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。	化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	4章1節(実験6) →予想、結果 4章2節(実験7) →予想、結果	4章1節(実験6) →考察 4章2節(実験7) →考察	4章1節(実験6) →課題に対する結論、振り返り 4章2節(実験7) →課題に対する結論、振り返り
6月	単元名(題材名)	単元1 化学変化と原子・分子 第5章 化学変化とその理由	指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	5章1節(実験8) →予想、結果	5章1節(実験8) →考察	5章1節(実験8) →課題に対する結論、振り返り
6月	単元名(題材名)	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第1章 生物と細胞	指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	1章1節(観察1)→予想、結果 1章2節(観察2)→予想、結果 1章3節(観察3)→予想、結果	1章1節(観察1)→考察 1章2節(観察2)→考察 1章3節(観察3)→観察	1章1節(観察1)→課題に対する結論、振り返り 1章2節(観察2)→課題に対する結論、振り返り 1章3節(観察3)→課題に対する結論、振り返り

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

○月	単元名(題材名)	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第2章 植物のからだのつくりとはたらき	指導時数	10
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	植物のからだのつくりとはたらきに関する事物・現象に進んでかわかり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	2章1節(実験1)→予想、結果 2章2節(実験2)→予想、結果 2章4節(実験3)→予想、結果 2章5節(実験4)→予想、結果	2章1節(実験1)→考察 2章2節(実験2)→考察 2章4節(実験3)→考察 2章5節(実験4)→考察	2章1節(実験1)→課題に対する結論、振り返り 2章2節(実験2)→課題に対する結論、振り返り 2章4節(実験3)→課題に対する結論、振り返り 2章5節(実験4)→課題に対する結論、振り返り
○月	単元名(題材名)	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき	指導時数	11
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物が生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	動物が生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んでかわかり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	3章1節(実験4) →予想、結果	3章1節(実験4) →考察	3章1節(実験4) →課題に対する結論、振り返り
○月	単元名(題材名)	単元4 電気の世界 第1章 静電気と電流	指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	静電気と電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	静電気と電流について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、静電気と電流の性質や規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	静電気と電流に関する事物・現象に進んでかわかり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	1章1節(実験1) →予想、結果	1章1節(実験1) →考察	1章1節(実験1) →課題に対する結論、振り返り

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

○月	単元名(題材名)	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質	指導時数	14
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	電流に関する事象・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流のはたらきを理解して、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	2章2節(実験2)→予想、結果 2章3節(実験3)→予想、結果 2章4節(実験4)→予想、結果 2章5節(実験5)→予想、結果	2章2節(実験2)→考察 2章3節(実験3)→考察 2章4節(実験4)→考察 2章5節(実験5)→考察	2章2節(実験2)→課題に対する結論、振り返り 2章3節(実験3)→課題に対する結論、振り返り 2章4節(実験4)→課題に対する結論、振り返り 2章5節(実験5)→課題に対する結論、振り返り
○月	単元名(題材名)	単元4 電気の世界 第3章 電流と磁界	指導時数	12
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	電流と磁界に関する事象・現象を日常生活や社会と関連づけながら、磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基礎操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流と磁力線との関係、電流の磁気作用について見通しをもって観察、実験などを行い、実験結果を分析して解釈し、電流と磁界の関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究している。	電流と磁界に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	3章1節(実験6)→予想、結果 3章2節(実験7)→予想、結果 3章3節(実験8)→予想、結果	3章1節(実験6)→考察 3章2節(実験7)→考察 3章3節(実験8)→考察	3章1節(実験6)→課題に対する結論、振り返り 3章2節(実験7)→課題に対する結論、振り返り 3章3節(実験8)→課題に対する結論、振り返り
○月	単元名(題材名)	単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測	指導時数	15
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な概念や原理などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気象観測に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	1章1節(観察1)→予想、結果 1章2節(実験1)→予想、結果	1章1節(観察1)→考察 1章2節(実験1)→考察	1章1節(観察1)→課題に対する結論、振り返り 1章2節(実験1)→課題に対する結論、振り返り

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

○月	単元名(題材名)	単元3 天気とその変化 第2章 雲のでき方と前線	指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	天気の変化に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	2章1節(実験2)→予想、結果	2章1節(実験2)→考察	2章1節(実験2)→課題に対する結論、振り返り
○月	単元名(題材名)	単元3 天気とその変化 第3章 大気の動きと日本の天気	指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害についての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	日本の気象、自然のめぐみと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、日本の気象についての規則性や関係性、天気の変化や日本の気象との関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	日本の気象、自然のめぐみと気象災害に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析
	評価時期及び評価場面	3章4節(実習1)→予想、結果	3章4節(実習1)→考察	3章4節(実習1)→課題に対する結論、振り返り
○月	単元名(題材名)		指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)			
	評価方法			
	評価時期及び評価場面			

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和6年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	理科
教科担当			
教科書名	新しい科学3 東京書籍		
副教材	理科の学習整理		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (理科) 科の目標と評価について

教科の 目 標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
評 価 の 観 点	<p>(知識・技能)○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。○観察・実験の基本操作を習得できているか。○観察・実験を計画的に実施し、その結果を記録・整理できているか。</p> <p>(思考・判断・表現)○自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行うことができているか。○観察・実験の結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。○自然の事象・現象を自らの日常生活との関わりでみようとしているか。</p>
方 評 法 価	<p>・定期・小テスト等 ・マンダラーチャート(単元の振り返り) ・パフォーマンス(技能)テスト</p> <p>・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(ノートやレポートの記述内容) ・振り返り(自己・相互評価)</p> <p>○授業中の態度や発言・発表の様子、実験・観察の技能、ノートやレポートなどの提出物、自己評価、定期テストや単元テストなど総合的に評価する。</p>

2 (理科) 科の学習について

進 授 め 業 方 の	<p>・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。</p> <p>・これまでに学習した内容や知識と結びつけながら、仮説や予想を立てるようにしましょう。</p> <p>・理科学語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。</p> <p>・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。</p> <p>・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、自分が観察した事実やわかったことを表現しましょう。</p> <p>・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。</p>
テ 定 ス 期 ト	<p>○授業で扱った事項、及び試験前に指定した範囲の内容から試験問題を作成します。</p> <p>○試験範囲は定期テスト1週間前までに発表します。</p> <p>○各テストでは毎回実験や観察での注意事項からも出題します。普段の授業からしっかり確認しておきましょう。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	単元1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた		指導時数	8
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	○化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、原子の成り立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ○観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	○水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見出して表現し、科学的に探究している。	○水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	
	評価方法	○記述分析	○行動分析 ○記述分析	○行動分析 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	1節【実験1】 → 実験の記録 2節 → 課題の説明	2節 → 【実験2】考察	3節 → 身近なものとの関連付け		
4月～5月	単元名(題材名)	化学変化とイオン		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 観察実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見出して表現し、科学的に探求している。	水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	
	評価方法	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析 ○ペーパーテスト	○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	2章2節 → 実験4の予想 2章3節 → 実験5の記録	2章2節 → 実験4の考察	2章1節 → 実験3 2章3節 → モデル考察		
5月～6月	単元名(題材名)	化学変化とイオン		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見出して表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	
	評価方法	○記述分析 ○発言分析	○発言分析 ○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	3章1節 → 課題説明 3章4節 → 課題説明	3章2節 → 実験7の考察 3章4節 → 燃料電池について考察	3章2節 → モデル考察 3章3節 → 課題説明		

※概ね満たす姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

6月	単元名(題材名)	生命の連続性		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○記述分析 ○行動観察	○行動観察 ○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
	評価時期及び評価場面	1章3節 → 観察2の記録	1章4節 → 課題に対する考察	1章 → 学習の振り返り	
7月～8月	単元名(題材名)	生命の連続性		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○発言分析 ○行動観察	○発言分析 ○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
	評価時期及び評価場面	2章1節 → 実習1の記録	2章1節 → 実習1の考察	2章 → 学習の振り返り	
8月～9月	単元名(題材名)	生命の連続性		指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○発言分析 ○記述分析	○行動観察 ○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
	評価時期及び評価場面	3章1節 → 課題の説明	3章4節 → 課題の考察	3章 → 学習の振り返り	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

9月～10月	単元名(題材名)	運動とエネルギー		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さや向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○行動観察 ○記述分析	○行動観察 ○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	1章3節 → 実験2の記録	1章1節 → 実験1の考察	1章 → 学習の振り返り		
10月	単元名(題材名)	運動とエネルギー		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○記述分析 ○発言分析	○記述分析 ○発言分析	○行動観察 ○記述分析 ○発言分析	
評価時期及び評価場面	2章1節 → 課題の結論 2章3節 → 課題の結論	2章2節 → 課題の考察	2章4節 → 実験4の予想・記録		
10月～11月	単元名(題材名)	運動とエネルギー		指導時数	12
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力学的エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○記述分析 ○行動観察	○記述分析 ○行動観察	○行動観察 ○記述分析	
評価時期及び評価場面	3章4節 → 実験の記録	3章2節 → 実験の予想 3章3節 → 実験5記録	3章5節 → 課題の考察		

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その④）

11月～12月	単元名(題材名)	地球と宇宙		指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○記述分析 ○ペーパーテスト	○記述分析 ○発言分析	○記述分析 ○発言分析	
評価時期及び評価場面	1章4節 → 実習1モデル	1章5節 → 実習2の考察	1章3節 → 観察3の予想		
12月	単元名(題材名)	地球と宇宙		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○行動観察 ○記述分析	○発言分析 ○記述分析	○記述分析 ○発言分析	
評価時期及び評価場面	2章1節 → 実習3の記録	2章3節 → 実習4の考察	2章2節 → 課題の結論 2章 → 学習の振り返り		
12月	単元名(題材名)	地球と宇宙		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○発言分析 ○記述分析	○発言分析 ○記述分析	○記述分析 ○行動観察	
評価時期及び評価場面	3章1節 → 課題の考察	3章2節 → 課題の考察	3章 → 学習の振り返り		

※概ね満たす姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑤）

1月	単元名(題材名)	地球と私たちの未来のために		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法		○発言分析 ○記述分析	○発言分析 ○記述分析	
	評価時期及び評価場面		1章1節 → 課題の考察 1章2節 → 課題の考察	1章 → 学習の振り返り	
1月	単元名(題材名)	地球と私たちの未来のために		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○記述分析 ○行動観察	○発言分析 ○記述分析	○記述分析 ○行動観察	
	評価時期及び評価場面	2章1節 → 調査1記録	2章1節 → 調査1考察	2章 → 学習の振り返り	
1月～2月	単元名(題材名)	地球と私たちの未来のために		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。	エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○発言分析 ○記述分析	○記述分析 ○行動観察	○発言分析 ○記述分析	
	評価時期及び評価場面	3章1節 → 課題の結論	3章3節 → 実習1考察	3章2節 → 課題の考察	

※概ね満たす姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その⑥）

2月	単元名(題材名)	地球と私たちの未来のために		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	地域の自然災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり、ふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法	○記述分析	○発言分析 ○記述分析	○発言分析 ○行動観察	
	評価時期及び評価場面	4章1節 → 身近なものに関連付ける	4章1節 → 課題考察	4章1節 → 課題調査	
2月	単元名(題材名)	地球と私たちの未来のために		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)	経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的取り組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身につけている。	資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断している。	これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究しようとしている。	
	評価方法		○記述分析	○行動観察 ○記述分析	
	評価時期及び評価場面		終章1節 → 課題考察	終章1節 → 課題調査	
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満たす姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満たす姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。